

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	13	課題区分	C	2024年4月16日
横断的な課題	人口減少下における持続可能な地域づくり					木曾地域振興局
地域重点政策	人口減少下における持続可能な地域づくり					

実施機関	木曾地域振興局 企画振興課	担当課	所属	企画振興課
事業名	木曾地域公共交通計画策定事業		電話	0264-25-2212(直通)
			E-mail	kisochi-kikaku@pref.nagano.lg.jp

事業の概要	目的 (目指す姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>県内で最も人口減少、少子高齢化の進んでいる木曾地域において、住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう生活・産業活動基盤の維持、確保を図るとともに、木曾地域全体の公共交通の最適化を目指して、今後の公共交通施策に一定の方向性を示す。</li> <li>令和5年度策定予定の「木曾地域公共交通計画」に対して、現場の好事例を視察することで計画に反映させ、速やかに取り組めるようにする。</li> </ul>
	現状と課題	<p><b>1現状</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>木曾地域は人口がまばらで山間部にも集落が点在しており、「人の移動を束ねて輸送する」という公共交通の本来的な概念に馴染みづらい。</li> <li>少子高齢化が顕著であり、人口減少も著しく、バス停までのアクセスにも難がある。</li> <li>郡内の重要施設(病院、スーパー等)が木曾福島市街地に偏在しているため、交通不便者の移動も広域的でバス路線も長距離化している。</li> <li>各町村が個別に木曾病院等へのバスを運行させているため路線の重複が顕著である。</li> <li>交通事業者の経営悪化や、ドライバー不足が深刻となっている。</li> <li>ほとんどの車両がステップの高いものとなっており、利用者の多くを占める高齢者からはバリアフリー化を望む声が寄せられている。</li> <li>コミュニティバス化に伴い地域間幹線系統補助金(国庫補助金)の返上をしたが、現行制度に照らすと再び対象となる可能性があるため検討が必要である。</li> </ul> <p><b>2課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>町村独自のコミュニティバス路線の重複を解消し効率的に運行する必要がある。</li> <li>バリアフリーバスへ対応していく必要がある。</li> <li>コミュニティバス化に伴う国の補助制度へ対応していく必要がある。</li> </ul> <p>⇒広域的な見地から、町村・運行事業者等と調整し、広域計画の策定が必要</p> <p>◎人口減少、高齢化が進む木曾地域において公共交通を安定して確保するため、令和5年度中に広域幹線路線(広域バス路線)の運行の指針等となる「木曾地域公共交通計画」を策定する。</p>
概要内容 (変更後の内容)	概要	<p>○広域バス路線の運行を着実に実現するための専門的人材の活用や運営組織、運営形態等の実態を把握するため、全国の市町村の好事例を視察することで、導入検討のための情報収集を行う。 (広域バス路線の運行に伴い既存路線との運行調整が生じるが、スキルのない行政職員では困難が予想されるので、総務省の「地域活性化企業人制度」等の活用も検討する必要があるため。)</p> <p>(渡邊局長、一由企画振興課長、逸見広域連携推進幹の3名)</p> <p>○視察先</p> <p>①兵庫県宍粟市(10月1~2日実施) [選定理由]過疎地域であること、谷あいの地形など木曾地域とよく似た地域であり、過疎地域における路線バス運行の実績があるため。</p> <p>②栃木県佐野市(7月31日実施) [選定理由]既に総務省の「地域活性化企業人制度」を活用し、「ジェイアールバス関東株式会社」社員による路線バス運行調整業務の実績があるため。</p> <p>③石川県珠洲市(12月18日~19日実施) [選定理由]過疎地域であること、谷あいの地形など木曾地域とよく似た地域であり、過疎地域における路線バス運行の実績があるため。</p>
	内容	<p><b>【変更】</b></p> <p>○地域公共交通を進めていく上で、町村や広域連合との連携が重要であるため、木曾郡内6町村及び木曾広域連合に対して視察結果を報告するだけでなく、木曾地域公共交通活性化協議会、幹事会、総務企画分科会など関係する会議においても情報共有を行うことになった。</p> <p>○資料作成にあたり、公共交通においては、グラフ等の他、幹線と支線など路線の区別や、施設、場所など凡例の区別を色で識別し委員などに分かりやすくする必要があるので、カラーコピーでの資料とする。</p> <p>○委員には、交通事業者、学校PTA役員、シニアクラブ役員、社会福祉協議会役員、商工会役員など地域の方たちが多く、パソコンを持っていない方やパソコンに不慣れな方、高齢者もあり、資料のデジタル化が難しく、紙媒体による提供しかできない。</p> <p>○会議3回程度の他、事前説明として木曾管内6町村及び広域連合へも資料配付が必要であり(公共交通は、各町村の総務課だけでなく、住民福祉課、生活環境課、建設課など様々な課との連携が重要である)1回につき約30部印刷(1部40枚程度の資料)の10回の資料配付が必要となった。40枚×30部×10回=12,000枚程度のカラーコピー使用料が必要となった。</p> <p><b>【変更2】</b></p> <p>○南信州地域は、広域連合が公共交通法定協議会を運営し、「南信州公共交通システム」の体系化への取組を進めている県内でも先進的な地域である。運賃設定、停留所整備、高校生のバス利用、運転手不足への対応、キャッシュレス決済など、来年度木曾地域で策定を予定している「木曾地域公共交通アクションプラン」の参考となる部分が多いため、視察し情報収集を行う。(3月18日~19日)</p>
事業期間	令和5年9月 ~ 令和6年3月	

事業費等	(単位:円)			
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考
事業費	先進地視察	職員旅費	315,805	[兵庫県宍粟市](1泊2日) 局長旅費 38,760円 職員旅費1人 38,760円 [栃木県佐野市](日帰り) 局長旅費 22,960円 職員旅費 22,960円×2人=45,920円 [石川県珠洲市](1泊2日) 局長旅費 45,880円 職員旅費1人 45,880円 [南信州広域連合] 局長旅費 9,500円 職員旅費 9,500円×3人=28,500円 [県庁等公共交通打合せ] 局長旅費 31,445円 職員旅費2人 8,200円
	先進地視察	資料作成用消耗品	41,000	フラットファイル@880×10束=8,800円 コピー用紙@440×10束=4,400円 トナー @27,800×1本=27,800円
	等	視察結果報告用	資料作成用消耗品	21,000
コピー使用料			82,340	カラーコピー代、白黒コピー代
合計			460,145	

達成指標状況及び	成果指標	目標値	成果	達成状況
達成指標状況及び	町村及び広域連合との相談回数	5回以上 (10月~2月まで 1ヶ月に1回以上)	6回	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 達成</li> <li>○ 一部達成</li> <li>○ 未達成</li> </ul>

・事業成果  
 ・全国の公共交通関連先進地である市町村4か所の好事例の視察を行い、その内容を、都度木曾管内6町村及び木曾広域連合と共有した。今後、アクションプランを策定するのに向けて非常に参考となった。  
 ・そして会議等において相談を重ね(10月1回、11月1回、1月2回、3月2回、計6回)、令和6年3月に「木曾地域公共交通計画」を策定することができた。

今後の方向性  
 ・今年度策定した木曾地域公共交通計画(マスタープラン)を実行していくため、令和6年度以降、運賃、ルート、ダイヤなどより具体的な検討を行い、木曾地域公共交通利便増進計画(アクションプラン)を策定し、路線再編等に必要事項について町村や交通事業者と協議を進め、令和7年10月の運行開始を目指す。